

こんにちは、院長の小島俊行です。ホームページをご覧くださいありがとうございます。現在平成 29 年 5 月 8 日開院を目指して奮闘中です。

【理念】

私の理念は、患者さん中心の医療です。患者さんが納得し安心して自信を持って治療方法を選択できるお手伝いをしています。当院をお帰りにする時に、満足で安心できる医療を目指します。

【始めに】

2017年3月1日よりミューズレディースクリニック院長に就任した小島俊行と申します。産婦人科医となり40年目となります。2016年8月末までは、三井記念病院産婦人科部長として12年間勤務しておりました。専門は感染症（特に母子感染・性感染症など）、婦人科手術（悪性腫瘍、筋腫核出術、腹腔鏡下手術）、美容外科的皮膚縫合などです。母子感染（トキソプラズマ、風疹、サイトメガロウイルスなど）に関しては、全国から前施設に妊婦さんがお出でになり、カウンセリングを含め、すべて自分でトキソプラズマ感染時期の診断検査などを行い判定致しております。また、子宮内膜細胞診検査の痛みを最小限とする工夫をこれまで30年間研究してきました。さらに大学病院などで子宮全摘出手術を勧められた未婚の患者さんなどに、私のセカンドオピニオンとして、手術適応なしで経過観察しましょうとか、筋腫核出術をしましょうなどとお勧めしてきました。従って、私が手術する患者さんは、筋腫だけで13.5kg（赤ちゃん4人分の重さ）を取ったとか、100個以上の筋腫を核出し子宮は残したなど、一般的ではない手術を主に引き受けてきました。他の病院で手術を勧められて納得されれば手術をお受けいただき、そうでなければご相談にお出で下さい。誰のための手術なのかを含め、長所・短所一般的な選択基準などをご説明します。

当院では、手術が必要な患者さんには、ご希望の病院を紹介致しております。必要なければ、経過を観察してゆきます。お気軽にお越し下さい。

【エピソード】

10年ほど前、浸潤した子宮頸がんと診断された30代前半の患者さんが私を訪ねていらっしゃいました。私が診察・診断・説明を行ったところ、患者さんは病院を出た時には街の景色がそれまでとは違って明るくなっていたと非常に喜んでいらっしゃいました。医学的に正確に説明でき、思いやりがあれば誰でもできる簡単なことです。直ちに患者さんは私の手術を希望され、広汎性子宮全摘術を頑張ってお受けになり、10年経過していますが今も元気に通院されています。また40歳を過ぎた未婚の女性が大きな子宮筋腫があり大学病院などを何ヶ所も回りましたが全て子宮を取ることを勧められました。納得されなかった患者さんは私を訪れ、ご説明し、最終的には13.6kg(赤ちゃん4人分の重さ)の子宮筋腫を核出し、ご希望通り子宮を温存することができました。未婚の女性が子宮を温存することは生きる糧の場合もあります。皆様は多様性があり色々な個性があります。医学的に妥当な範囲内で、ご希望に沿った診療を行うことが大切と考えます。

【予約について】

事前に予約頂いたほうが待ち時間も短いですが、当日直接ご来院頂いてもお待たせいたしますが診察するよう努力いたします。スマホ・パソコンから予約可能です。不可能な場合は電話で予約可能です。30日前から予約を開始いたします。予約開始は、5月1日の予定です。なお、小島に関する病院への電話は5月1日以降でお願いします。

【自分の体は自分で管理】

20歳を過ぎたら、子宮がん検診、性感染症のクラミジア感染症・淋菌感染症、梅毒などの検査を受け、自分を知ることが大切です。当院では、経膈エコー（未婚のかたは経直腸エコー）、内診（未婚のかたは直腸診）などにより卵巣嚢腫や子宮筋腫がないことも診断できます。自分の体は自分で管理しましょう。医師はそのお手伝いをします。ご希望の検査のみ受けることもできます。

【トキソプラズマ】

トキソプラズマ IgM 抗体が陽性とされた妊婦さん、トキソプラズマ IgG 抗体のアビディティ検査で妊娠中の初感染の可能性があるとされた妊婦さん、レアな肉を食べてしまって心配な妊婦さん、これから妊娠を希望している妊婦さんで、免疫があるか知りたい方（ブライダルチェック）は、[トキソプラズマの間診票](#)をプリントアウトして頂き、わかる範囲で記入し、来院当日職員にお渡し下さい。

【風疹】

風疹 HI 抗体が256倍以上（風疹 IgG 抗体 \geq 45 IU/mL）であったり、風疹 IgM 抗体が陽性と診断され、妊娠中の（再）感染が疑われた妊婦さん。羊水穿刺による羊水診断が必要か心配されている方は、早めにご来院下さい。[風疹の間診票](#)をプリントアウトして頂き、わかる範囲で記入し、来院当日職員にお渡し下さい。

【サイトメガロウイルス】

サイトメガロウイルス IgM が陽性とされたが、赤ちゃんにどれくらいの影響が出るのか心配な妊婦さん。[サイトメガロウイルスの間診票](#)をプリントアウトして頂き、わかる範囲で記入し、来院当日職員にお渡し下さい。

【母子感染のセカンドオピニオンについて】

現在、母子感染は予防可能となりつつあります。妊娠中に、感染症に初感染した場合（[トキソプラズマ](#)・[風疹ウイルス](#)・[サイトメガロウイルス](#)・[麻疹ウイルス](#)・[水痘帯状疱疹ウイルス](#)・[パルボウイルス](#)・[ヘルペスウイルス](#)など）、赤ちゃんに感染して、お母さんとは別な症状が出る場合があります。また、お母さんが妊娠前から感染している場合（[肝炎ウイルス](#)・[成人T細胞白血病](#)・[人免疫不全ウイルス](#)など）で症状がなくても、赤ちゃんに感染することがあります。母子感染の経路・時期も妊娠中（胎内感染）、分娩時、授乳中（[経母乳感染](#)）に分けられます。

妊娠を考えている女性は、妊娠前に上記感染症に感染したことがあるのか（[既感染](#)）、まだ感染していないのか（[未感染](#)）を知っておくことは、母子感染の予防（[妊娠前のワクチン接種](#)）や、妊娠中の感染予防対策（[妊娠中の生活](#)、[食生活](#)も含め）に役立ちます。避妊をやめた時点から、女性は妊婦さんと同様の注意（[食物](#)・[服薬](#)・[レントゲン撮影](#)・[感染症](#)・[喫煙](#)・[アルコール摂取](#)など）が必要となります。

母子感染（[トキソプラズマ](#)、[風疹](#)、[サイトメガロウイルス](#)など）に関しては、全国から妊婦さんがお出でになり、カウンセリングを含め、すべて自分で[トキソプラズマ](#)感染時期の診断検査を行い判定致しております。

母子感染などにより赤ちゃんに感染の可能性があることを産科の先生から説明され、もしも心配であったり、判断に迷われた場合には、お出で下さい。

【子宮筋腫・卵巣嚢腫】

手術をした方が良いのか、経過を見てても良いのかお困りの方。患者さんの状況をお聞きして、患者さんに最適の治療法をお答えします。

【月経困難症・性交痛】

生理痛（医学的には月経困難症といいます）でお困りの方。個人差で病気がない生理痛の強い方は、鎮痛剤を使用してもよいでしょう。しかし、子宮内膜症が原因で月経困難症がある場合には、妊娠を計画するまで婦人科で定期的に診察・治療が良いでしょう。性交痛の原因が、子宮内膜症のことがありますので、遠慮しないで受診しましょう。

【不正出血（性器出血）】

20代～30代では子宮腔部びらん、卵巣機能が原因で出血することが多いです。40代からは子宮頸癌・子宮体癌でないことを診断する必要があります。50代以降は更年期・閉経後であれば萎縮性膣炎が多いですが、子宮頸癌・子宮体癌でないことを診断する必要があります。

【おりものの変化】

おりもの（医学的には帯下「たいげ」といいます）の量が増える、黄色くなる、いやな臭いがする、外陰部・膣がかゆくなるなどの場合は、「細菌性膣炎」、「カンジダ膣炎」などの可能性があります。次の月経後も症状が続けばご来院下さい。

【月経異常】

月経周期が不順のかた、量が多かったり少なかったりするかた。原因を診断したり、必要があれば治療します。特に量の多いかたは、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜ポリープ、出血傾向のある内科の病気などがあるかないかを診断する必要があります。

【貧血】

月経血に小指の先くらいの血の塊（かたまり）が出るかたは、実は異常です。「鉄欠乏性貧血」と診断された女性は、①月経血が多いか、②胃腸疾患（大腸ポリープ、大腸潰瘍、大腸がん、胃潰瘍など）が原因です。鉄剤の服用だけで貧血を治しても、原因を診断しなければ、病気が悪くなる可能性があります。塊の出るかたは、産婦人科を受診しましょう。

【ブライダルチェック】

これから赤ちゃんをご希望のかた。母子感染疾患、内科的疾患（糖尿病、甲状腺疾患、高血圧、心臓病、歯周病など）を妊娠前に診断し、治療やワクチン接種などを行います。

【下腹痛・腰痛】

下腹部～そけい部が痛い場合、子宮や卵巣・卵管に病気がある場合があります。月経の時期との関係などがある場合、婦人科疾患の可能性が高くなります。

【赤ちゃんが欲しい】

木曜日の午後の外来で専門外来を開いています。ご予約下さい。

【妊婦健診】

当院で分娩はできませんが、妊婦健診は可能です。また、緊急入院が必要な場合は、入間市の吉田産科婦人科に入院することは可能です。

【中絶】

どうしても出産できない場合、至急ご来院下さい。1日でも早いほうが体の負担が少ないです。

【月経移動】

旅行・試験・試合などで月経を移動したい場合、その前月の月経を遅らせることで、大事な期間にピルを服用しないで済みます。月経が順調であれば2ヵ月くらい前に受診しましょう。

【避妊希望】

避妊を希望する場合に、現在最も確実な方法は低容量ピルです。長所・短所がありますので、納得して服用しましょう。副作用は、検査により早期発見できることが多いです。

【緊急避妊】

妊娠の可能性が生じた場合（コンドームを使用しなかった場合など）、翌朝直ちに受診しましょう。100%確実ではありませんし、女兒には副作用があります。パートナーと原因を話し合い、再発防止を考えて下さい。難しい場合は、今後はピルを服用しましょう。

【更年期障害】

閉経が近くなって、ほてり・発汗・動悸などが寒い時にも出現する場合は、更年期障害です。誰でも通る道ですので、症状が気にならなければ、病気ではありません。症状が困るようであれば、治療も可能です。

【ワクチン接種希望】

風疹ワクチン、麻疹ワクチン、インフルエンザワクチンなどをご希望のかた。始めてご来院頂いた日に、効果や副作用をご説明し、妊娠の可能性がない接種日の予約をいたします。したがって2回ご来院頂く必要があります。

【セカンドオピニオン】

悪性腫瘍・子宮筋腫・卵巣嚢腫などで、セカンドオピニオンをお受けしています。お気軽にご相談下さい。中立の立場で、医学的に患者さんに最も適切な順に治療法を提案いたします。

【小島が出演・コメントした最近の報道】

2011/8/29 朝日新聞(夕刊)、体とこころの通信簿「風疹」 妊娠前にワクチンで予防を

2012/5/10 午前5時52分と7時のNHKニュース「妊娠中の寄生虫感染 赤ちゃんに障害も」

2012/5/10 午前8時15分から「あさいち」で【番組冒頭】「妊婦さんご注意！意外なモノで赤ちゃんに危険」

2012/5/11 0:00~0:30 NHKの「NEWS WEB 24」でトキソプラズマ母子感染について生出演。

2012/5/24(木) 18:10-19:00 NHK「首都圏ネットワーク」『暮らしなっとく 注意！妊娠中の感染』で放送。

2012/07/19(木)19:00 NHK ニュースセブンにて妊婦の風疹感染について放送

2012/07/19(木)21:00 NHK ニュースウォッチ9にて妊婦の風疹感染について放送

2012/10/31 20:00～20:30 NKH E テレ「ハートネット TV」にて、「母子感染」で放送
2012/11/7 13:05～再放送される。
2013/1/7 毎日新聞 朝刊、医療&健康ナビ:TORCH 症候群 どんな症状が？
2013/2 朝日新聞
2013/2/14 21:00～NHK ニュースウォッチ 9 にて「風疹 首都圏中心に大流行」
2013/3/1 NHK ニュース、おはよう日本にて、風疹のニュースに専門家としての意見を言う
2013/3/14 NHK ニュースにて、先天性風疹症候群児 7 例目のニュースに専門家としての意見を言う
2013/3/25 21:00～NHK ニュースウォッチ 9
2013/3/28 NHK おはよう日本にて「風疹の流行拡大を防げ 予防のとりくみ広がる」
2013/4/2 17:10～18:00 NHK ゆうどきネットワーク「感染広がる風疹 予防対策は？」に生出演
2013/4/3 18:10-19:00 NHK 首都圏ネットワーク「東京で新たに先天性風疹症候群」
2013/4/4 8:15～ NHK あさイチ「とまらない感染拡大 流行つづく風疹」
2013/4/11 関西テレビ スーパーニュースアンカー「トキソプラズマ症」
2013/4/30 東京新聞 Web 「妊娠中は生肉、生ハム避けて トキソプラズマに感染の恐れ」
2013/5/22 TBS テレビ
2013/5/23 8:00～フジテレビ「とくダネ」にて風疹についてコメント
2013/5/28 17:00～19:00 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」にて「風疹感染 去年の37倍！妊婦感染で赤ちゃんに影響も」でコメント
2013/6/26 17:00 NHK ニュースにて「風疹」について、コメント。
2013/7/23 18:10～NHK 首都圏ネットワークにて「先天性風疹症候群」について、コメント。
2013/7/23 21:00～NHK ニュースウォッチ 9 にて「先天性風疹症候群」について、コメント。
2013/7/31 19:30～NHK ニュースにて「先天性風疹症候群」について、コメント。
2013/7/31 20:45～NHK ニュース 8:45 にて「先天性風疹症候群」について、コメント。
2013/8/14 15:55～NHK ニュースにて「先天性風疹症候群 過去最多に」について、コメント。
2014/4/25 ラジオニッケイ「風疹」
2014/5/20 朝日新聞 朝刊、医療&健康ナビ:妊娠前「ワクチン接種を」
2014/9 ラジオニッケイ『ドクターサロン』「妊娠時のサイトメガロウイルス、トキソプラズマ感染症」
2014/12/5 19:30～19:55 NHK 総合、特報首都圏
「生むという決断 そして～先天性風疹症候群で生まれた 命の記念日」
2015/2/7 11:30～11:54 NHK 総合、『目撃 日本列島』
「生むという決断 そして～先天性風疹症候群で生まれた 命の記念日」
2016/1/31 6:30～7:00 広島テレビ、『知ってなっ得！』「感染症の予防 Vol.4 妊婦と乳児に注意してほしい感染症」
2016/2/21 11:30～12:00 BS 日テレ、『知ってなっ得！』「感染症の予防 Vol.4 妊婦と乳児に注意してほしい感染症」

【講演】

【2,014 年】

429) 小島俊行、吉田良一、上妻志郎、越智良文、永井晋平、鈴木研資、佐山晴亮、岡部葉子、中林 稔、高田恭臣、中

山裕敏、柿木成子、中田真木

ミニワークショップ 12 周産期の感染症

14 年間にわたるトキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦 1,199 例の前方視的検討

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会、2014.4.19、東京都

430) 鈴木研資、**小島俊行**、上妻志郎、吉田良一、永井晋平、越智良文、佐山晴亮、岡部葉子、中林 稔、高田恭臣、柿木成子、中田真木

風疹感染妊婦 13 例と出生児の分析・予防対策の検討

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会、2014.4.19、東京都

431) 佐山晴亮、**小島俊行**、吉田良一、越智良文、永井晋平、鈴木研資、岡部葉子、中林 稔、高田恭臣、柿木成子、中田真木

妊娠前後に風疹ワクチンを接種した妊婦 20 例分析と予防対策の提案

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会、2014.4.19、東京都

432) 中田真木、鈴木研資、中山裕敏、佐山晴亮、岡部葉子、板橋加奈、中林 稔、高田恭臣、柿木成子、**小島俊行**、越智良文、永井晋平

症候性の子宮筋腫に伴う下部尿路症状

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会、2014.4.19、東京都

433) **小島俊行**

風疹

ラジオニッケイ、2014.4.25、東京都

434) **小島俊行**

母子感染をめぐる最近のトピックス—トキソプラズマ・風疹・サイトメガロウイルスを中心として—

第 31 回水戸周産期懇話会、2014.5.18、水戸市

朝日新聞 2014.5.19

435) **小島俊行**

母子感染をめぐる最近のトピックス—トキソプラズマ・風疹を中心として—

第 9 回東京都周産期医療ネットワーク区西部ブロック連携会議、2014.5.26、東京都

436) **小島俊行**、越智良文、永井晋平、鈴木研資、森嶋かほる、板岡奈央、佐山晴亮、上島千春、小泉美奈子、荷見よう子、中田真木

過去 3 年間の風疹流行の分析

第 31 回日本産科婦人科感染症研究会、2014.6.8.神戸市

437) 藤井達也、板岡奈央、佐山晴亮、小泉美奈子、高田恭臣、柿木成子、中田真木、**小島俊行**

妊娠初期にトキソプラズマに初感染した 1 例

第 31 回日本産婦人科感染症研究会、2014.6.7.神戸市

438) 小島俊行

二次施設からみた風疹流行の分析と安全なワクチン接種時の問診法(トキソプラズマについても一言)
第 437 回福岡地区小児科医会学術講演会、2014.6.25, 福岡市

439) 小島俊行

トキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦の対応
第 50 回日本周産期・新生児医学会、2014.7.15.東京都

座長 小島俊行・多屋馨子

ワークショップ 1「先天性風疹症候群(CRS)診療マニュアル」
第 50 回日本周産期・新生児医学会、2014.7.15.東京都

440) 小島俊行

「母子感染の最近の動向と診断にあたっての留意点—血清抗体値の評価を中心として—」
第 292 回東京産婦人科医会臨床研究会、2014.7.19.東京

441) 小島俊行

シンポジウム4「先天異常をもたらす人獣共通感染症 トキソプラズマ症研究の最前線—基礎と臨床から」 「14 年間にわたるトキソプラズマIgM 抗体陽性妊婦1,199 例の前方視的検討と胎内感染防止策の構築」
第 54 回日本先天異常学会学術集会、2014.7.27.神奈川県厚木市

442) 小島俊行

周産期感染症 II(ウイルス感染・母子感染)
平成 26 年度周産期医療研修会〈医師 B コース:産科編〉、2014.9.12.東京都

443) 山村菜実、鈴木 萌、棚橋あかり、犬塚悠美、関口将軌、佐々木愛子、谷垣伸治、小澤伸晃、塚原優己、左合治彦、
小島俊行

第2子のトキソプラズマスクリーニング検査により第1子のトキソプラズマ感染が判明した 1 例
第 372 回東京産科婦人科学会例会、2014.12.20、東京都

444) 小島俊行

ラジオニッケイドクターサロン
妊娠時のサイトメガロウイルス、トキソプラズマ感染症
ラジオニッケイ、2014.9 放送

445) 小島俊行

NHK
生むという決断 そして～先天性風疹症候群で生まれた 命の記念日
NHK 総合、特報首都圏 2014.12.5 19:30～19:55 放送

【2,015 年】

446) 小島俊行

NHK

生むという決断 そして～先天性風疹症候群で生まれた 命の記念日

NHK 総合、目撃 日本列島 2015.2.7 11:30～11:54 放送

447) 小島俊行

トキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦の管理と風疹二次施設からみた風疹流行の分析

第 51 回岩手周産期研究会特別講演、2015.3.7, 盛岡市

448) 小島俊行

赤ちゃん(妊娠中)のトキソプラズマ症

熱帯病治療薬研究班主催の市民公開講座「台所とレストランで考える食の安全 知って防ごう トキソプラズマ症」、

2015.3.22, 東京都

449) 小島俊行、吉田良一、吉田智子、越智良文、永井晋平、高橋樹里、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

羊水トキソプラズマ擬陽性(BI+,SAG-1-)妊婦の血清抗体の分析と出生児の予後

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会、2015.4.10、横浜市

450) 高橋樹里、小島俊行、吉田良一、吉田智子、越智良文、永井晋平、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

トキソプラズマ IgM 抗体偽陽性の診断と原因の分析

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会、2015.4.10、横浜市

451) 永井晋平、小島俊行、吉田良一、吉田智子、越智良文、高橋樹里、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

妊娠成立前後の風疹ワクチン接種妊婦と出生した児の分析

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会、2015.4.10、横浜市

452) 中田真木、上島千春、永井晋平、越智良文、高橋樹里、森嶋かほる、板岡奈央、小泉美奈子、荷見よう子、小島俊行、丸本結実

子宮筋腫の手術治療による下部尿路症状および関連する QOL 指標の改善

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会、2015.4.12、横浜市

453) 小島俊行

妊婦・授乳婦の疾病と治療 up to date 妊婦・授乳婦感染症の治療

星薬科大学認定薬剤研修 薬剤師生涯学習・講演会シリーズ、2015.5.17、東京都

454) 小島俊行、吉田良一、吉田智子、雨田 恵、藤原綾乃、小田紘子、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、

中田真木、荷見よう子

トキソプラズマ IgM 抗体偽陽性の診断と対応

第 31 回日本産婦人科感染症学会、2015.5.23、宇都宮市

455) 小島俊行

トキソプラズマ母子感染の現状分析とスクリーニングの意義・アビディティの意味

第 51 回日本周産期新生児学会学術講演会、2015.7.10、福岡市

456) 小島俊行

第 15 回 症例から学ぶ感染症セミナー解説

自験例からみたトキソプラズマ母子感染の実際

第 85 回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第 58 回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第 63 回日本化学療法学会西日本支部総会、2015.10.17、奈良市

457) 小島俊行

2,011 年から 2,013 年に当科を受診した風疹顕性感染妊婦と児の予後の分析

第 64 回 日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 62 回 日本化学療法学会東日本支部総会合同学会、2015.10.22、札幌市

458) 小島俊行

妊婦と感染症

東京都平成 27 年度第 8 回母子保健研修、2015.12.15、新宿区

【2,016 年】

459) 小島俊行

感染症の予防 Vol.4 妊婦と乳児に注意してほしい感染症

広島テレビ、知ってなっ得！ 2016.1.31 6:30～7:00 放送

BS 日テレ、知ってなっ得！ 2016.2.21 11:30～12:00 放送

460) 小島俊行

母子感染の最近のトピックストキソプラズマ・風疹を中心として一

東京都助産師会主催 平成 27 年度助産師教育指導講習会、2016.2.7、文京区

461) 小島俊行

母子感染の最近のトピックストキソプラズマ・風疹を中心として一

江東区医師会・産婦人科医会・小児科医会合同講演会、2016.2.19、江東区

462) 小島俊行

母子感染の基礎知識

厚生労働省主催 平成 27 年度「母子感染の予防と対策」研修会、2016.2.22、新宿区

463) 小島俊行

妊婦トキソプラズマ IgM 抗体偽陽性の診断と原因分析

第 90 回日本感染症学会総会・学術講演会、2016.4.15、仙台市

464) **小島俊行**、吉田良一、吉田智子、雨田 恵、山口 瞳、小田紘子、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

16 年間にわたるトキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦 1,915 例の前方視的検討

日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会、2016.4.23、東京都

465) 吉田良一、**小島俊行**、吉田智子、雨田 恵、山口 瞳、小田紘子、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

ミニワークショップ 6 周産期ウイルス感染症

トキソプラズマ IgM 抗体(+)かつ同 IgG 抗体(-)妊婦 81 例の診断と対応

日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会、2016.4.23、東京都

466) 山口 瞳、**小島俊行**、吉田良一、吉田智子、小田紘子、森嶋かほる、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

風疹顕性感染妊婦 19 例と出生児の分析と感染予防対策の検討

日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会、2016.4.23、東京都

467) 中田真木、上島千春、山口 瞳、小田紘子、森嶋かほる、小泉美奈子、荷見よう子、**小島俊行**

出産後の骨盤臓器脱と腹圧性尿失禁に見出される肛門・肛門周囲構造の損傷—

膣口からの 3 次元超音波画像による観察—

日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会、2016.4.24、東京都

468) 森嶋かほる、小泉美奈子、雨田 恵、山口 瞳、小田紘子、板岡奈央、上島千春、中田真木、荷見よう子、**小島俊行**

当院における 45 歳以上の強い子宮温存希望の子宮筋腫の患者に腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術を行った 5 年間の症例についての検討

日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会、2016.4.24、東京都

469) **小島俊行**

特別講演

母子感染の最近のトピックス

東京女子医科大学産婦人科学講座同門会、2016.6.11、新宿区

470) **小島俊行**

周産期感染症 II(ウイルス感染・母子感染)

平成 26 年度周産期医療研修会〈医師 B コース:産科編〉、2014.9.12.東京都

471) **小島俊行**

母子感染の基礎知識

厚生労働省主催 平成 28 年度「母子感染の予防と対策」研修会、2016.10.、千代田区

472) 小島俊行

特別講演

トキソプラズマ・風疹ウイルス・サイトメガロウイルス抗体陽性の解釈と対応
第 33 回並木周産期医療研究会、2016.11.18、所沢市

473) 小島俊行

特別講演

自験例からみた母子感染の最近の動向—トキソプラズマ・風疹を中心として—
三鷹市医師会・産婦人科医会講演会、2016.12.6、三鷹市

【2,017 年】

474) 小島俊行

医学講座:トキソプラズマの母子感染予防と治療
ラジオ NIKKEI 第1放送、2017.2.23 20:40~21:00、東京都

475) 小島俊行、吉田良一、吉田智子

最近臨床検査センターに導入されたトキソプラズマ IgM 抗体・同 IgG 抗体 (CLEIA 法) の ELISA 法との相関とアビディティとの関係—妊婦 276 例の分析と CLEIA 法の数値の読み方—
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会、2017.4.16、広島市

476) 吉田良一、吉田智子、小島俊行

トキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦既に出産した同胞は先天感染のリスクが高い
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会、2017.4.16、広島市

477) 雨田 恵、板岡奈央、小島俊行、藤原綾乃、長嶋菜月、森嶋かほる、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子
サイトメガロウイルス IgM 陽性妊婦における胎内感染の予測因子と IgG・IgM 抗体値の変化についての前方視的検討
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会、2017.4.16、広島市

478) 小島俊行

基調講演 2:トキソプラズマの診断と治療と母子感染回避
第 34 回日本産婦人科感染症学会、2017.5.20、奈良市

479) 小島俊行

基調講演 2:風疹の診断と治療と母子感染回避
第 34 回日本産婦人科感染症学会、2017.5.20、奈良市

480) 小島俊行

周産期感染症 II (ウイルス感染・母子感染)
平成 29 年度周産期医療研修会〈医師 B コース:産科編〉、2017.7.20.東京都

【論文】

【2,012 年】

356) Study of toxoplasmosis in 4466 pregnant women in Japan: anti-Toxoplasma antibody prevalence, primary infection rate, and risk factors. 2012. Clinical and Vaccine Immunology.19(3):365-367

Sakikawa M, Noda S, Hanaoka M, Nakayama H, Hojo S, Kakinoki S, Nakata M, Yasuda T, Ikenoue T, Kojima T.

357) 小島俊行、鈴木研資、杉浦紀子、小西久也、森田一輝、武家尾舞子、板橋香奈、中林 稔、高田恭臣、中山裕敏、柿木成子、中田真木

周産期感染症の診断法—トキソプラズマを中心として—
臨床検査、2012,56(7):723-729

【2,013 年】

医療&健康ナビ:TORCH 症候群 どんな症状が？

毎日新聞 朝刊、2013.1.7

359) 小島俊行

I.出生前のポイント 5.母子感染をいかに予防するか？

研修ノート No. 89「最新 新生児のプライマリケア」、日本産婦人科医会研修委員会編集、日本産婦人科医会、33-52, 2013

360) 小島俊行、越智良文、永井晋平、鈴木研資

XIII 先天性・母子感染症 先天性トキソプラズマ症

別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No. 25 感染症症候群(第2版)、日本臨床社(東京)、669-673, 2013

361) 小島俊行

母子感染を知っていますか—第3回 母子感染症の予防と治療—

MEDEX JOURNAL, 2013,9(123号):8-9

【2,014 年】

医療&健康ナビ:妊娠前「ワクチン接種を」

朝日新聞 朝刊、2014.5.20

362) 小島俊行、越智良文、永井晋平、森嶋かほる、佐山晴亮、板岡奈央、上島千春、小泉美奈子、中田真木、荷見よう子

見逃すな、寄生虫感染症！発熱を主症状とする寄生虫感染症 トキソプラズマ症

【2,015 年】

363) 小島俊行

第 7 章 周産期感染症の管理と処置 f. 風疹

改訂 3 版 MFICU マニュアル、全国周産期医療(MFICU)連絡協議会編、メディカ出版(大阪市)、2015:580-582

364) 小島俊行

第 7 章 周産期感染症の管理と処置 g. トキソプラズマ感染症

改訂 3 版 MFICU マニュアル、全国周産期医療(MFICU)連絡協議会編、メディカ出版(大阪市)、2015:583-586

【2,016 年】

医療ルネサンス:「妊娠時、ネコのふんに注意」

讀賣新聞 朝刊、2016.7.28

医療ルネサンス:「風疹」

朝日新聞 朝刊、2016.10.18

【2,017 年】

365) 小島俊行

第 7 章 周産期感染症の管理と処置 f. 風疹

改訂 3 版 MFICU マニュアル、全国周産期医療(MFICU)連絡協議会編、メディカ出版(大阪市)、2015:580-582

【著書】

348) 小島俊行

女性の性感染症

今日の診断指針 2,010、医学書院(東京)、2010:1739-1743

353) 小島俊行

トキソプラズマの母子感染

母子感染、川名尚、小島俊行編、金原出版(東京)、2011:136-155

363) 小島俊行

第 7 章 周産期感染症の管理と処置 f. 風疹および g. トキソプラズマ感染症

改訂 3 版 MFICU マニュアル、全国周産期医療(MFICU)連絡協議会編、メディカ出版(大阪市)、2015:580-586

356) Study of toxoplasmosis in 4466 pregnant women in Japan: anti-Toxoplasma antibody prevalence, primary infection rate, and risk factors. 2012. Clinical and Vaccine Immunology.19(3):365-367

Sakikawa M, Noda S, Hanaoka M, Nakayama H, Hojo S, Kakinoki S, Nakata M, Yasuda T, Ikenoue T, Kojima T.